

議会
だより

ふくしま

(題字：福島小学校 1年 おぐま えいなさん)

第140号

令和5年12月1日発行
福島町議会

福島町議会
9人の船出

初の無投票、
定数割れ

議会HP



ここがききたい！

● 一般質問 (9月第2回会議) 7ページ

みんなのお金をどう使ったの？

● 決算審査特別委員会 8ページ

こんなことを調査しました

● 常任委員会レポート 25ページ

ふくしま ふくしま
1年 なかむら しのさん 1年 つしま いおさん

ふくしま ふくしま
1年 こみなみ がくさん 1年 さとう はるおみさん

9月会議 (初議会)

新しい議会構成が 決まりました

議会HP
議会構成



議会議員選挙は無投票となり、立候補した9名の議員全員が当選。9月1日に改選後初めての議会が開催され、新しい議会構成が決まりました。

正副議長選挙の前に、議長・副議長を志す議員による所信表明が行われました。これは、今後の議会活動の方向性を明確にし、

議会の責務を強く認識して、町民と協働のまちづくりを進めるために行っています。

- ・選挙結果…P 4
- ・常任委員会の構成…P 5
- ・各議員の公約（目標）…P 13～17

※年齢は12月1日時点



みぞべ こうき
溝部 幸基 議長

当選12回
76歳

【活動姿勢】

依存する体質を変え、応分の責任と負担を強く自覚し、知恵と協働を基本とし「自立する町づくり」に引き続き取り組んでまいります。

【所信表明】※要約

町民の皆さんへ情報を伝え、共有し、単純に迎合することなく、理解し合い、協働することを肝に銘じ、「分かりやすく、町民が参画する議会」、「しっかり討議する議会」、「実感できる政策を提言する議会」を目指し努力を続けます。

あらためて議員定数・議会の在り方・議会改革全体の見直しにも取り組み、町民の皆様にご意見を伺ってまいります。



ひらの たかお
平野 隆雄 副議長

当選8回
75歳

【活動姿勢】

人口減少など厳しい状況ですが、議員として日々研鑽を重ね、正しい判断をし、町の発展、町民福祉向上に努めます。

【所信表明】※要約

将来を担う子供たちに誇れる福島町の歴史、伝統、文化をしっかりと引き継ぎ、自然に恵まれた郷土福島を活性化して、元気のあるまちづくりを推進します。

町民の皆様が実感できる政策提言を念頭に、中立、公平の立場で議長を補佐することを約束いたします。

議員紹介

議長・副議長を除く
議席番号順
議席番号8は欠番
議長は10、副議長は9



1 ^{ふじやま} 藤山 ^{まさる} 大 議員

【活動姿勢】

無投票という結果でしたが、温かい声援ありがとうございました。福島町が持つポテンシャルが最大限発揮されるよう努力いたします。

当選4回
49歳



2 ^{すぎむら} 杉村 ^{しろう} 志朗 議員

【活動姿勢】

永い間の議員生活の中で初めて無投票当選を致しました。私は今季限りで勇退するつもりですが、善と悪の意識改革が必要です。

当選8回
75歳



3 ^{さとう} 佐藤 ^{たかお} 孝男 議員

【活動姿勢】

議員一期目から掲げている一次産業の振興にこの4年間も努力して参ります。
生産現場から生の声を行政に届けて参ります。

当選9回
77歳



4 ^{こしか} 小鹿 ^{あきよし} 昭義 議員

【活動姿勢】

一人ひとりが輝く新しい元気なまちを実現する為、町民、町職員、同僚議員と共に何が町民のためになるのか十分見極め課題に取り組みます。

当選2回
71歳



5 ^{ひらぬま} 平沼 ^{しょうへい} 昌平 議員

【活動姿勢】

無投票・欠員の議会選挙結果を重く受け止め、今後のまちづくりを町民の知恵と知識を政策提言に活かして初志貫徹で力強く頑張ります。

当選6回
68歳



6 ^{きむら} 木村 ^{たかし} 隆 議員

【活動姿勢】

無投票選挙で関心低下は進み、改革議会の完成形が誕生してしまいました。4年後は79歳の議長、副議長となるでしょう。毅然とした政治活動をしていきたいと思ひます。

当選6回
44歳



7 ^{くまの} 熊野 ^{しげお} 茂夫 議員

【活動姿勢】

町民の皆さんの目線で、町民の皆さんが幸福感を実感できる持続可能な町づくりを目指し、議員活動に邁進してまいります。

当選4回
74歳

議会の新体制を決めました

定例会9月会議は9月1日に開会し、選挙4件を行い、1件の宣誓を受け同日に休会しました。

参加者は2名でした。

詳しい資料はこちら



町議会定例会

9月会議

選挙

議長選挙

- ・有効投票 9票の内
- 溝部 幸基 7票

- ・無効投票 2票

副議長選挙

- ・有効投票 9票の内
- 平野 隆雄 6票
- 木村 隆 3票

- ・無効投票 0票

渡島西部広域事務組合議会議員選挙

- ・有効投票 9票の内
- 溝部 幸基 3票
- 佐藤 孝男 3票
- 木村 隆 2票
- 杉村 志朗 1票
- ・無効投票 0票

次の選挙は議長の指名推薦により決定しました。

渡島廃棄物処理広域連合議会議員選挙

- ・平沼 昌平
- ・平野 隆雄

宣誓

鳴海町長の宣誓

福島町まちづくり基本条例第15条の規定に基づき、鳴海町長が宣誓を行いました。

所信表明

鳴海町長の所信表明

鳴海町長が今後4年間にわたる町政を進めるため、所信表明を行いました。

読めば読むほど
詳しくなれる!

するめコラム ⑨

“所信表明”って何？

所信表明とは、自分の考えや信念、方針などを演説や講義することで表明することを言います。

町長が行う所信表明は、今後4年間にわたる町政運営の姿勢やまちづくりの考え方について議場で話されます。

所信表明の内容は、まちづくりに深く関わるため、後の定例会で議員から一般質問が行われる場合もあります。

議長	溝部 幸基
-----------	-------

副議長	平野 隆雄
------------	-------

◆委員会

委員会名	役職 委員長 (◎) 副委員長 (○)	委員	
総務教育常任委員会	◎藤山 大	杉村 志朗	溝部 幸基
	○熊野 茂夫	木村 隆	平野 隆雄
経済福祉常任委員会	◎佐藤 孝男	平沼 昌平	平野 隆雄
	○小鹿 昭義	溝部 幸基	
議会運営委員会	◎平沼 昌平	藤山 大	佐藤 孝男
	○木村 隆	熊野 茂夫	

◆一部事務組合の議員

渡島西部広域 事務組合議会	溝部 幸基	佐藤 孝男	木村 隆
渡島廃棄物処理 広域連合議会	平野 隆雄	平沼 昌平	

◆町の付属機関の委員

法律で規定している付属機関に、次の通り議員が就任しました。

都市計画審議会	藤山 大	熊野 茂夫	佐藤 孝男	小鹿 昭義
---------	------	-------	-------	-------

◆各常任委員会の担当分野

総務教育 常任委員会

町の全体的な政策や財政、防災、学校教育、生涯学習、図書館、スポーツ振興などに関することを審査します。

経済福祉 常任委員会

町の経済・観光振興、福祉や健康、道路管理、水道管理など住環境に関することを審査します。

議会運営 委員会

議会を円滑に運営するための委員会です。各定例会の運営、反省のほか、議会だよりの発行に関することも担当しています。

広報広聴 常任委員会

議会の情報を発信し、町民の声を聞いて、議会活動に反映させるための委員会です。町民や団体との懇談会などを行っています。

吉岡温泉工事請負費 8,000万円の増額補正

定例会9月第2回会議は9月12日に開会し、議案11件、報告2件、認定7件、同意1件、推薦1件、意見書1件について審議し、いずれも原案の通り可決、同意、答申し、14日に休会しました。参画者は3名でした。

詳しい資料はこちら



町議会定例会

9月第2回
会 議

条例の一部改正

防災行政無線施設設置・管理等条例の一部改正

吉岡温泉建設工事に伴い、隣接している屋外拡声支局を移設したことによる改正
※屋外拡声支局：屋外に設置されたスピーカーカー

計画の変更

第5次総合計画の変更

事業の追加や変更により、計画の一部を変更（千軒地区新たな公共交通手段確保事業等）

(千円)

区分	総事業費
変更前	7,878,300
追加	10,200
変更	700
変更後	7,889,200

委員会の任命・推薦

教育委員会委員

平沼竜平氏の選任に同意。
(再任)

人権擁護委員

澤田裕利氏を人権擁護委員として適任であると答申。(再任)

補正予算

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

千軒地区新たな公共交通確保事業

千軒地区で週2日のデマンド交通を実施するため

187万5千円追加

吉岡温泉整備事業費

建設資材・人件費の高

騰・設計内容の精査による工法の変更のため(ジャグジー浴槽の拡大等)

8千万円追加

(千円)

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計(第4号)	154,617	5,499,695
国民健康保険特別会計(第3号)	23,048	757,463
介護保険特別会計(第1号)	32,159	581,209
後期高齢者医療特別会計(第1号)	▲1,086	74,180
国民健康保険診療所特別会計(第2号)	2,851	114,037
水道事業会計(第1号)	▲609	227,223

※浄化槽特別会計は財源繰替のため予算総額の増減なし

議会からの提出議案

意見書の提出

国土強靱化に資する社会

資本整備に関する意見書

議員が聞きました 町の“いま”と“これから”

一般質問



9月第2回会議では2人の議員から2件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

1. 九重部屋合宿の暑さ対策は？
2. 公共施設(保育所・庁舎・温泉・給食センター・記念館等)の暑さ対策は？
3. 定住向け町有住宅に設置したエアコンの修理費等の負担はなるのか？
4. 「暑さに負けない対策事業」として、町民のエアコン設置への助成を検討してはどうか！

動画は
こちら



生活
環境

問

来年度に向けての暑さ対策は

定住
対策

答

エアコンの設置を急ぐ

鳴海町長

1. 家庭用扇風機7台で対応していたが、1人1台の扇風機を確保し、大研修室に簡易エアコン・冷風機2台を設置した。
2. 次年度に最優先で対応できるよう作業を進める。新たな吉岡温泉はエアコン設置する。
3. 町が負担する。
4. 個人への助成は現時点で考えていない。



小鹿 昭義議員

1. 各学校の熱中症発症状況・要因の分析は？
2. 学校関係の熱中症対策のガイドラインと発症の際の対応は？
3. 厳しい暑さの中で学ぶ子供たちや父母の声をどのように把握しているのか、内容は？
4. 次年度以降の暑さ対策を検討しているのか、内容は？
5. 各学校へのエアコン設置は、緊急課題と思うが、今後の方向性を伺う。

動画は
こちら



教育

問

学校の熱中症対策は

生活
環境

答

次年度に向け
エアコン設置を検討

小野寺教育長

1. 直近5年間で熱中症の報告はない。
2. 日本スポーツ協会の「熱中症予防運動指針」を参考としている。昨年からは児童生徒には水筒を持参させ、授業中も水分補給が可能。
3. 校長会や学校運営協議会、PTA等の声を直接聞いている。今年度は暑さ対策の要望が多く寄せられた。
- 4・5. 必要性を強く感じている。次年度に向けて町長部局とともに検討していきたい。

令和4年度 決算審査特別委員会

委員長 平野 隆雄

9月13日、14日の2日間にわたって令和4年度会計の決算審査特別委員会が行われ、5つの特別会計及び水道事業会計を含む総額65億円の決算を認定しました。

一般会計の歳出額は48億7千602万円で、前年度に比べ2億2千252万円（4.8%）増となりました。歳入額は50億341万円で、前年度に比べ2億3千356万円（4.9%）増となりました。なお、財政調整基金の残高は13億5千359万円で、前年度に比べ5千13万円増となりました。

※金額は四捨五入表示。

※質疑・応答は、第5次総合計画のまちづくり項目の順番で要約し、抜粋を掲載しています。

産業の再生による雇用の創出、次世代を担うリーダー等の育成

●水産、水産加工業

問

北海道栽培振興公社熊石事務所で伝染病が発生したが、アワビの種苗の供給に支障が出た場合、販売計画への影響は。

（藤山大議員）

答

供給が困難である場合、通常は20ミリ種苗を購入しているが、種苗の大きさを変えるなどして調達し、販売計画に影響のないよう管理を進めていきたい。

問

横綱ビーチの遊泳期間延長は今後も続けるのか。

（杉村志朗議員）

答

今年の子供達の夏休み期間が延長されたため遊泳期間も延長した。今後も続けていきたい。

問

吉岡の漁村環境改善センターの解体時期は。

（小鹿昭義議員）

答

埋蔵文化財と北海シーウィードの昆布が保管されており、整理後に解体する。現時点で解体時期は未定。

●農業

問

熊等による被害対策について、ハンター3名の現状で対応可能な頭数はどの程度想定しているのか。

（平沼昌平議員）

答

現在、熊は10頭、鹿は100頭前後。来年4月から有害鳥獣減容化処理施設が稼働することにより、鹿は200頭を想定している。ただし、熊の対応は1名のベテランハンターに頼らざるを得ないため、他の駆除員へ技術、知識を継承するとともに、新たなハンターの確保について検討していきたい。



吉岡漁村環境改善センター



● 商工業・地場産品

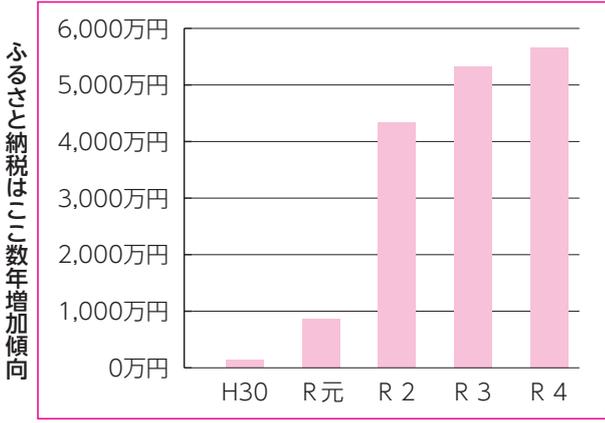
問

ふるさと納税のポータルサイトに商品を載せたい場合の窓口はどこか。手数料はかかるのか。

(木村隆議員)

答

窓口は企画課が担当している。商品をサイトに載せるにあたって事業者が負担する手数料はない。



町民の安心安全な暮らしががん予防対策の充実

● 高齢者の福祉

問

ひとり暮らしの高齢者に対する見守り体制は。(佐藤孝男議員)

答

社会福祉協議会に高齢者の見守りを依頼しているが、365日すべて対応できる体制ではなく、月数回程度の訪問となっている。町内会、町、社協が連携、協力していくことが大切。



豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実

● 防災

問

千軒地区の防災無線が不調でほとんど聞こえない。早急に点検を。(佐藤孝男議員)

答

再度状況を保守業者に伝え、今年の点検時に対応したい



学びあい、たくましい人を育てる

● 幼児教育、学校教育

問

青少年交流センターは計画当初、町民と生徒が交流することで発展させていきたいという話だったが、高校の生徒や小中学生が遊びに行っても入れなかったと聞いた。どのようなルールになっているのか。(藤山大議員)

答

ハウスマスターを中心に、現在入居している生徒でルールを作成した。現段階では共有スペースに外部の人を入れることについて、意見が分かれており、調整している。※後日、高校の生徒に限り入れることとなった旨の回答があった。

令和4年度各会計決算額

単位：千円

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引	
一 般 会 計		5,003,406	4,876,016	127,390	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	682,211	645,321	36,890	
	介 護 保 険 特 別 会 計	保 険 事 業 勘 定	558,559	527,228	31,331
		サ ー ビ ス 事 業 勘 定	1,256	1,256	0
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	72,412	72,412	0	
	浄 化 槽 整 備 特 別 会 計	64,472	64,429	43	
	国 民 健 康 保 険 診 療 所 特 別 会 計	114,712	105,314	9,398	
水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 支	107,301	89,510	17,790	
	資 本 的 収 支	105,400	127,497	▲ 22,097	

※水道事業会計の資本的収支における不足額については、補填財源により補填されております。

令和4年度 議会費の使い道

前年度より5,418千円の減額

単位：千円

区 分	令和3年度	令和4年度	主 な 使 い 道
報 酬	24,137	22,422	議員歳費22,212、委員等報酬210
給 料	12,205	11,725	事務局職員3名、会計年度任用職員1名
手 当 等	16,225	15,264	期末手当：議員9,047、職員6,217
共 済 費	13,325	12,947	議員6,757、職員6,190
報 償 費	0	0	専門的審査・調査謝金
旅 費	488	884	委員費用弁償22、普通旅費268、視察研修旅費354、職員旅費135、同行旅費105
交 際 費	76	170	祝儀24、接待16、土産9、後援21、協賛金13、会費24、香典30、供花33
需 用 費	778	1,039	消耗品費109、追録代9、購読料29、修繕費200 議会だより印刷製本費692
使 用 料 賃 借 料	325	1,273	インターネットサーバスペース使用料40、タブレット管理サービス使用料119、議会インターネット中継回線利用料124、ペーパーレス会議システム使用料990
備 購 入 品 費	4,069	381	管理用備品購入費381
負 担 金 交 付 金	1,053	1,159	管内議長会等198、四町議員協議会149、議員公務災害補償組合負担金等62、政務活動費750
償 還 金 利 子	1,083	1,082	議会中継システム譲受代金年賦金1,082
合 計	73,764	68,346	※事務局職員、会計年度任用職員の給料等は「職員給与費」に計上されており、議会費の決算額と一致しません。

新副町長が選任されました

定例会10月会議は10月13日に開会、議案2件、同意1件を審議し、追加日程として副町長の宣誓を行い同日に休会しました。

参加者は2名でした。

詳しい資料はこちら



町議会定例会

10月会議

条例改正

総合計画の策定と運用条例の一部改正

総合計画実施計画の事業登録基準を変更する改正

補正予算

令和5年度一般会計補正予算(第5号)

● 生活支援ハウス改修事業費
冷房設置に必要な調査と設計をするため

200万円追加

● 教育施設等冷房設備設置事業費
冷房設置に必要な調査と設計をするため(小中学校・福祉センター)

470万円追加

(千円)

一般会計(第5号)

補正額 11,060

補正後の
予算総額 5,510,755

同意

副町長の選任

副町長に小鹿一彦氏(60歳)を選任することに同意しました。

【任期】

令和5年10月21日から
令和9年10月20日まで



選任後あいさつをする小鹿一彦氏

宣誓

副町長の宣誓

まちづくり基本条例第15条の規定に基づき、小鹿副町長予定者が宣誓を行いました。

退任あいさつ

工藤副町長の退任あいさつ

工藤副町長から任期満了による退任のあいさつがありました。



退任のあいさつをする工藤副町長

各議案の審議結果



9月第2回会議採決の様子

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案	議員名							審査結果	
			藤山 大	杉村 志朗	佐藤 孝男	小鹿 昭義	平沼 昌平	木村 隆	熊野 茂夫		平野 隆雄
9月会議 (9/1)	宣誓 1	町長の宣誓	採決はありません							宣誓済	
9月第2回会議 (9/12~19)	22	防災行政無線施設設置・管理等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	23	第5次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	24	過疎地域持続的発展市町村計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	25	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	26	令和5年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	27	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	28	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	29	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	30	令和5年度浄化槽整備特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	31	令和5年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	32	令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定 1	令和4年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
	認定 2	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定 3	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定 4	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定 5	令和4年度浄化槽整備特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定 6	令和4年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定 7	令和4年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意 1	教育委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
諮問 1	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	原案選任	
報告 2	令和4年度財政健全化判断比率の報告	採決はありません							報告済		
報告 3	令和4年度教育に関する事務の管理・執行状況の点検・評価に関する報告	採決はありません									
発委 8	国土強靱化に資する社会資本整備等意見書の提出	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決	
10月会議 (10/13)	33	総合計画の策定と運用条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	34	令和5年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	同意 2	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
	宣誓 2	副町長の宣誓	採決はありません							宣誓済	

議員活動の目標（公約）

令和5年度分（令和5年9月～令和6年3月）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。本年度は任期

満了に伴い前期（4月から8月）、後期（9月～翌年3月）に分けて目標設定を行い、9名の議員から総数128項目（昨年度：9名提出 161項目）が提出されました。

※年齢は12月1日時点

藤山 大 49歳 議員歴11年 19項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進	福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	教育	福島商業高等学校存続対策
政治	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	教育	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
財政	優先順位を持った財政運営の推進	その他	今後の「道の駅」のあり方
	町立診療所運営健全経営推進		各種行事への積極的な参加
経済	一次産業のさらなる発展への提言	その他	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言		松前半島高規格道路整備の推進
経済	農業者へのやさしい対応と後継者育成	その他	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）
	新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）		インターネットを使っての報告 [YouTube、X (Twitter)、Zoom]
経済	B級グルメ等、福島町の良さのPR強化		



杉 村 志 朗 75歳 議員歴24年 7項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行政	防災危機管理の訓練	福祉	少子化対策と高齢者医療の推進
財政	無理のない基金の活用	教育	令和6年度高校入学者の増に期待
経済	スルメ加工者の高齢化対策	その他	運転免許返納者への対応
済	養殖アワビ飼育の安定営業		

佐 藤 孝 男 77歳 議員歴36年 14項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行政	若者の定住と雇用の場の推進	福祉	予防医療の推進
	大型公共施設の健全な運営を注視 (吉岡温泉、種苗センター)		
財政	財政調整基金の健全な運用	教育	学校給食での地場産物利用強化 食育の取組み、体験学習の推進 高校の町外からの受け入れ強化
経済	陸上養殖アワビの生産拡大		
	一次産業の振興と新規就業者の育成		
済	ほだ木の確保のため町有林調査と作業路の整備	その他	第2青函トンネルの実現に向けての推進 松前半島道路(防災道路)の推進
福祉	町立診療所の健全運営		



小 鹿 昭 義 71歳 議員歴4年 13項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応えていく仕組みの確立化を推進
	第2青函トンネルの構想実現		子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
政	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言	教	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	育	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言		
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか」を見極め、課題に取り組む
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進		
済	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言		

平 沼 昌 平 68歳 議員歴19年 14項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	経済	高齢者再雇用に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への理解提言
	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	福祉	ウィズコロナの対応に向けた生活環境の取組の提言
政	防災対策の対応と危機管理の熟成を提言(避難路確保、避難備蓄庫等)	福祉	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	教育	道立福島商業高校存続のための生徒確保に向けた取組と提言
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言		小・中・高一貫校に向けた町独自の教育体系
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実	その他	議会議員の魅力化と議会活動の見える化に向けた取組
	移住促進に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言		女性議員・若者議員のなり手確保のための議会改革

木 村 隆 44歳 議員歴16年 9項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行政	総合計画6次への提案、提言	教育	義務教育予算の確保（教科担任制など）
	当町の脱炭素政策の具体的な方向性	教育	高校入学生徒のPR
財政	大型公共施設完成後の財政運営の注視	その他	松前半島道路（防災道路）計画の遂行
経済	コロナ5類移行後の経済循環政策		第二青函トンネルの機運向上政策
経済	昆布養殖作業効率向上政策		

熊 野 茂 夫 74歳 議員歴8年 4項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします	教育	福島商業高等学校存続のために活動いたします
財政	こども園、小・中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします	その他	地域の生活環境の改善・整備について行政へ提言してまいります

平 野 隆 雄 75歳 議員歴28年 15項目

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進の実現へ	経済	エゾアワビの稚貝を全力で確保
	岩部クルーズ等の活性化による交流人口増	福祉	超高齢化と超人口減少に対するまちづくり提言
福島（松浦）、松前（荒谷）間の新ルート防災道路の推進	福祉		吉岡温泉ゆとらぎ館オープン後の提言
財政	ふるさと応援基金の活用	福祉	がん検診の検診率向上推進
行政	町立診療所運営の健全経営実現へ	教育	少子化の中の教育行政推進
	旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現へ	教育	縄文土器等による町づくり提言
経済	養殖コンブ製品増の推進	その他	両記念館、伊能忠敬公園の観光客に向けたPRを推進
経済	スルメ加工品以外の商品開発推進		

分野	具体的な目標項目	分野	具体的な目標項目
行	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(各種計画に関する提言・検証)	福	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査		「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等)		公立診療所のあり方に関する調査研修
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)		在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割)
	過疎自治体における政策推進のあり方		労働者協同組合に関する調査研究(活動事例、行政連携)
政	浄化槽(下水道整備)の普及推進	社	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進		小中学校一貫教育、コミュニティスクールの調査研修
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究		過疎自治体における高等教育推進に関する調査
財	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	教	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)
	退職手当制度の抜本的改善		「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進
	各団体等への補助金、事業助成金等のあり方		食育・地産地消の推進(食育基本計画→情報周知・実践計画・研修)
政	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	育	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現(議会基本条例の周知)
	異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブランド化システムの再検討)		活発な討議(討論)ができる議会の実現
	地場産品の6次産業化に関する調査研修		政策的な提案のできる議会の実現
	産業団体と課題に取り組む産業公社的仕組みづくりの調査研修		幅広い情報収集、積極的な研修参加
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修		視察の積極的な受け入れ
経		そ	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)
			各種行事への積極的な参加
済		の	
			その他

議会による 行政評価



町では、「まちづくり基本条例」に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和4年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、「議会基本条例」に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「議会行政事務事業評価要綱」を定め、各事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化し、翌年度予算へ反映させることとしています。

議会の行政評価結果の概要

10月17日に総務教育常任委員会、10月27日に経済福祉常任委員会で議員提出の全67事務事業評価を調整し、議会評価を

決定、町へ手交しました。各委員会別の評価結果は次のとおりです。

◎→十分評価できる ○→概ね評価できる
△→やや不足している ▲→不足している

	◎	○	△	▲	計
総務教育	1	38	0	0	39
経済福祉	1	25	2	0	28
計	2	63	2	0	67

来年度の評価に向けて (両委員会共通)

現在の予算重視の評価方法では、適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした事業重視の評価方法に変更する等、評価方法全般の改善を検討されたい。

横綱ビーチ、陸上養殖アワビ施設、製氷

貯水施設、吉岡温泉、岩部クルーズ、新緑公園などの指定管理施設等関連事業については、管理運営費のみであっても行政評価の対象とすべきであると思慮されるので、評価項目全体の見直しを検討されたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
1	情報公開	議会だより発行など	A	◎	引き続き更なる工夫を期待する。
2	職員研修	研修計画に基づき職員研修を実施	A	○	研修の質的向上と関係機関への研修参加を検討願いたい。
3	車輛管理	公用車両の適正管理	A	○	引き続き適切な管理と事故防止の徹底に努められたい。
4	交通安全対策	町民へ交通安全啓発	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、啓発の工夫を図られたい。
5	町民運動対策 (青少年等)	青少年問題協議会の開催など	A	○	犯罪・非行防止のための情報発信に努められたい。
6	インターネット事業	役場内外のインターネット環境維持保全	A	○	引き続きインターネット利用拡大の取り組みを期待する。
7	ホームページ管理	ホームページを運用し行政情報を発信	A	○	基本的事項や行政情報を日々発信する等抜本的な対策を図られたい。
8	生活館等管理	町内会館の適正な維持管理	A	○	公共施設維持保全計画基本方針に基づく維持管理・有効活用を期待する。
9	災害対策	防災機器整備など	A	○	戸別受信機の良い利用のため継続的なメンテナンスが必要。
10	町内会連合会助成	同連合会の活動支援	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織展開を検討されたい。
11	文書広報	町広報誌の発行	A	○	今後も分かりやすい広報誌発行と、ちらし集約化の検討を。
12	ふるさと応援基金運営	ふるさと納税募集と、寄付者への返礼品贈呈	A	○	ふるさと納税寄付者の取り込みを更に進められたい。
13	産業活性化サポート事業	地場産品を活用した新商品開発への助成など	A	○	新商品開発のため、関係機関等の活用についても支援されたい。
14	町民運動対策 (コミュニティ)	町内会連合会へ助成	A	○	全町的な運動展開を期待する。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
15	バス待合所管理	バス待合所の維持管理	A	○	今後も快適な施設の維持管理を期待する。
16	戦没者追悼式事業	追悼式典の実施	A	○	全町民を参加対象とした新たな展開を期待する。
17	社会福祉	社会福祉団体への支援	A	○	社協の財政健全化に向けた自助努力を進め、適切な業務執行を願いたい。
18	高齢者行事	敬老会の開催	A	○	参加者減の要因を分析し、行事内容、参加方法を検討されたい。
19	在宅福祉事業	老人クラブ連合会への支援	A	○	老人クラブの活発な活動を期待する。
20	吉岡総合センター管理運営	同センターの維持管理	A	○	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
21	学童保育	授業終了後の学童保育	A	○	保育体制を確保し、教育委員会と連携した特色ある運営を期待する。
22	ごみ減量化対策	生ごみの自家処理機購入に対する助成	B	△	排出量は増加傾向にあり、生活様式の改善を徹底指導する検討を。
23	保育所	認定こども園福島保育所の運営	A	○	町の宝である子供たちを町ぐるみで育てていく取組の工夫を。
24	社会福祉総務	寝たきり老人等在宅介護手当の支給など	A	○	現在の社会状況を考慮し、手当額の増額を検討願いたい。
25	重度心身障がい者等タクシー料金助成事業	通院するためのタクシー料金を一部助成	A	○	利用率低迷の要因を分析し、適切に執行されたい。
26	老人福祉	希望者へ緊急通報システム機器を設置	A	○	必要性は理解するが、他の福祉事業との統合を検討しては。
27	健康づくり推進	健康フェスティバルの開催等による町民の健康増進	A	○	健康意識の醸成を促す活動に力点を置かれたい。
28	医療対策(保健衛生総務)	保健師等に対して修学資金貸付など	A	○	毎年度貸付実績がない。要因を分析し、対応を検討すべき。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
29	医療対策 (医療対策)	日曜当番医制による 町民健康保持など	A	○	広域的な取り組みを進められた い。
30	老人保健	リハビリ教室などの 実施	A	○	町立診療所と連携した在宅リハ ビリを充実させなければならない 。
31	多面的機能支払交付 金事業	地域活動組織への活 動経費交付	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な 事業展開を期待する。
32	活性化センター管理 運営	同施設(あづま～る) の維持管理	A	○	地域文化の活動拠点としての活 用と、町内外への情報発信を期 待する。
33	熊等による被害対策	有害鳥獣の被害防止 と危険個所の巡回	A	○	今後完成する有害鳥獣処理施設 の活用、受け入れ態勢等を検討 されたい。
34	利子補給事業	漁業者の貸付に対す る利子補給	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務 を進められたい。
35	水産加工振興協議会 補助	同協議会の運営補助	A	○	原料不足が深刻。要請活動を強 力に進めるべきと考える。
36	水産多面的機能発揮 対策事業	水産業多面的機能を 発揮させる活動組織 支援	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業 展開を期待する。
37	漁村環境改善総合セ ンター運営	福島・吉岡にある同 施設の管理運営	C	△	福島については、現状維持に努 め、吉岡施設は早急に解体すべ き。
38	労働者支援	職業紹介等の労働支 援	A	○	効果的な事業の改善、新規事業 の工夫を期待する。
39	観光振興	プロモーションやイ ベントでのPR事業 など	A	○	関係機関との役割分担、協力体 制を確認すべきと思慮する。
40	横綱記念館管理運営	同施設の管理運営	A	○	貴重な資料を無駄にすることな く両横綱の偉業を顕彰していただ きたい。
41	特産品センター管理	道の駅内にある同セ ンターの管理運営	B	○	道の駅としての評価が低い。内 容充実を図るための再検討が必要 。
42	青函トンネル記念館 管理運営	同施設の管理運営	A	○	第2青函トンネル構想などの企 画展示に取り組みされたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
43	街灯料助成事業	街路灯設置及び街灯料の助成	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。
44	教育関係団体・大会参加助成	同団体や児童生徒の大会参加費用の助成	A	○	物価高騰の影響等も十分把握し、助成事務を執行されたい。
45	高校魅力化推進事業	入学時の奨励金や検定受験等の助成ほか	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
46	青少年交流センター整備事業	同センターの整備	A	○	適切な生活指導と施設管理を望む。
47	友好市町交流事業	長野県木曾町、長崎県松浦市等との学生交流	A	○	三市町交流事業を推進すると共に、新たな地域との交流の展開を期待する。
48	A L T 招致	英語指導助手 2 名招致	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
49	児童生徒輸送	児童生徒の通学・行事・大会参加等への輸送	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
50	奨学資金貸付	経済的理由で就学困難な学生へ奨学資金貸付	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
51	教育用コンピュータ等整備事業	児童生徒へのタブレット等の整備など	A	○	タブレット等の更なる有効活用を図られたい。
52	教員住宅管理	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
53	小学校管理	小学校の適正な管理運営など	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化に努められたい。
54	中学校管理	中学校の適正な管理運営など	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化に努められたい。
55	学校給食センター	児童・生徒への学校給食の充実	A	○	地域食材の利用割合を高め、残さず食べられる給食の提供に努められたい。
56	社会教育総務	社会教育委員会議、スポーツ、講座など	A	○	社会教育の現状を把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
57	読書活動	福祉センター内図書室の運営	A	○	今後も図書管理システムの有効活用と図書司書の配置を期待する。
58	成人教育	各種講座の開催など	A	○	今後も住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
59	青年教育	成人式の開催など	A	○	式典の在り方の検討を進めると共に、青年教育の新たな展開を期待する。
60	少年教育	青少年主張大会、学生対象の講座開催など	A	○	新しい事業も取り入れているが、更に積極的な展開を期待する。
61	芸術・文化	芸術鑑賞事業、町民文化祭主催の文化団体協議会へ助成	A	○	新たな展開を期待する。
62	文化財保護	歴史講座開催、埋蔵文化財の保存と啓蒙など	A	○	学芸員を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
63	保健体育総務	各種社会体育事業の開催など	A	○	指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
64	総合体育館運営	同施設の維持管理	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
65	町民プール運営	同施設の維持管理	A	○	適切な管理、有効活用を進められたい。
66	ファミリースポーツ公園管理	同施設の維持管理	A	○	児童生徒等の利用を促進する事業等、利用拡大を検討されたい。
67	福祉センター運営	同施設の維持管理運営	A	○	施設の適切な維持管理に努められたい。



第6次総合計画策定 調査特別委員会レポート

— 令和5年10月4日開催 —

詳しい資料は
こちら



調査の論点と意見 (中間報告)

今回は、基本計画 (案) について調査しました。

1

教育環境の充実

計画では福島商業高校入学者数の目標値を20人としている。オープンキャンパスにも多数の応募があり、目標通りに推移した場合、青少年交流センターの部屋数不足が想定される。増築

には多額の費用がかかり、関係機関との協議も必要となる。すでに検討を初めているとのことだが、町外からの入学者受入れに支障がないよう早急な対応を進められたい。

2

水道管の調査・点検・更新

今回発生した水道管の漏水は、老朽化によるものと想定されるが、町内には他にも同時期に設置された管があり、同様の可能性が心配される。漏水が発

生した原因を分析し、水道管の調査・点検・更新の項目を第6次総合計画に追加し、基本計画・実施計画に組み込むよう検討されたい。

3

福祉センターのバリアフリー化

施設全体の老朽化もあり改修が先送りになっている。近年大型事業が重なり、全体の調整が必要なことは理解するが、方向性を示す必要があると思われるので、検討されたい。

4

Youtube・SNSの活用

リアルタイムでわかりやすい情報発信のためにはYoutubeやSNSは有効な手段と考えられる。現在、町では発信しておらず、今後の発信予定もないとのことだが、検討されたい。

【委員会意見中間報告】

基本計画 (案) の各施策の項目で設定されている指標のうち、現状値については直近の値としているとのことだが、項目によっては把握時期にばらつきが生じている。現状値の把握時期は統一すべきであり、全体的に見直しされたい。

本特別委員会として、基本計画 (案) の内容、目標とする指標の数値、設定の考え方、今後のスケジュール等については一定の理解をしたが、今回示されたのは基本計画 (案) であり、実施計画 (案) については今後示される事になることから、継続審議とする。

総務教育常任委員会レポート

— 令和5年10月13日調査 —

詳しい資料は
こちら



調査事件4 福島商業高等学校の魅力化

！ 高校魅力化と来年度の入学者確保に向けた取り組みの現状について資料が示されたので、内容を調査しました。

地元生徒へのPR強化！ 町外生徒の受入態勢を万全に！

取り組みの現状、今後想定される課題と対策には一定の理解をしたが、次の事項を検討願いたい。

【調査の論点・意見】

1

地元生徒へのPR

地元中学校から福島商業高等学校への進学が少ない要因として、生徒達が環境を変え新たな体験を求めているとの声も聞こえている。全国募集をきっかけに町外から生徒が入学することで、

地元の高校でも生徒達が求める新たな体験が得られると推察されることから、地元の生徒達に対しても高校の魅力化をしっかりとPRしていく必要があると思慮する。

2

魅力ある教育課程の推進

オープンキャンパスにおいて、ドローンの操作体験を行っていた。高校魅力化の一つとしてドローン資格の取得は有効と考えるが、現状、高校ではドローンを操作するための場所や指導できる教員等の体制が整っていないとのこと

であり、生徒が確実に資格取得出来るよう早急に体制を整える必要があると思慮されるので、教育委員会では、高校はもとより小中学校の教員（福島アカデミー）も含め連携して対応されるよう検討されたい。

3

青少年交流センターの受入状況

オープンキャンパス等の状況から部屋数不足が見込まれるため、増築の方針は理解する。増築規模は1月の願書提出の状況を見ながら検討するとのことだが、第6次総合計画では入学予定者数を20人としていることから、計画の人数も加味し総体的に検討しなお

す必要があると思慮する。物価高騰、大型事業が続く現状では慎重な計画検討が必要であり、寮で生活する生徒を指導・助言し見守るハウスマスターの増員等、入寮生増に対応する人員体制の整備も課題になると思慮するので早急に検討されたい。

調査事件2

所管関係施設・事業等の 町内視察、執行方針の取り組み

所管する関係施設・事業等の課題や問題点を把握するために町内視察を行い、町執行方針の施策と取り組み状況を調査しました。



【視察先】

- 種苗生産等施設整備事業（施設建設現場）
- 配水管漏水現場（日の出漏水現場）
- 定住向け町有住宅整備事業（住宅建設現場）
- 有害鳥獣処理施設整備事業（施設建設現場）



建設工事が進む種苗生産等施設



建設工事が進む町有住宅



ようへき
擁壁に覆われている漏水現場



建設工事が進む有害鳥獣処理施設



— 令和5年10月27日調査 —

執行方針の取り組み状況

【調査の論点・意見】

◆産業の再生による雇用の場の創出

●昆布養殖作業省力化検討計画の策定状況

コンブ養殖における現状課題等の対策（計画）については、**タイムスケジュール**が示されておらず、**漁業者に危機感を感じてもらえないことが危惧される**。人口減少が進み、漁業従事者も減る中で計画を進めるためには積極的に動くことも必要であり、**仮想的な町のビジョンを作って漁業者に諮ることも必要ではないか**と
思慮するので検討されたい。

●アワビ陸上養殖事業の状況

町内で提供するアワビカレーが事業として軌道に乗り始めている中で、**生育が想定より遅く、大口取引先へ優先供給することで、町内飲食店で提供ができていない**。

稚貝供給元での事故により新たな種苗が購入できない状況にあり、事業が後退する恐れがあるため、関係機関に協力を仰ぎ、**多少高値でも安定的に提供できるよう努められたい**。



◆がん予防の対策の充実

●各種がん予防対策

引き続き町内医療機関とも協力をしながら積極的な受診勧奨を行い、**がん検診の受診率向上を図られたい**。



◆高齢者等の安心安全な生活環境の充実

●第9期介護保険事業計画の策定状況

全国的に人材が不足している。町内事業所の現状等を調査し、必要とされる支援等について運営協議会の中で協議し計画に記載することを検討されたい。

調査事件2

所管関係施設・事業等の 町内視察、執行方針の取り組み

所管する関係施設・事業等の課題や問題点を把握するために町内視察を行い、町執行方針の施策と取り組み状況を調査しました。



【視察先】

- 文化財保管状況（吉岡漁村環境改善総合センター）
- 文化財移設状況（吉岡小学校3階）
- 旧美山教員住宅改修事業（旧美山教員住宅）
- 授業見学・南側校舎（福島小学校）



廊下まで文化財や昆布で一杯のセンター内部



文化財の移設先として改修中の旧教員住宅



センターから小学校に移設した文化財



タブレットが浸透した授業の様子



— 令和5年10月31日調査 —

執行方針の取り組み状況

【調査の論点・意見】

◆次世代を担うリーダー等の養成

●各大学・企業との包括連携の状況

今年度、企業と連携し若手職員向けの研修を開催したとのことだが、若手だけでなくその上の年代の職員・管理職についても積極的に研修を受講していく必要があると思慮するので検討されたい。

◆高齢者等の安心安全な生活環境の充実

●避難所、避難路整備の検討状況

身近な場所で訓練をすることで実際に災害があった際は避難するという意識づけがされると考えるので、町は町内会に対し避難訓練を行うよう積極的に勧めるとともに、経費等の支援も行うよう検討されたい。

◆学び合い、たくましい人を育てる

●ICT教育の実施状況

平成30年度に各学校へ導入したタブレット端末は、経年劣化から今後、検討チームを立ちあげ令和6年度に更新を予定しているとのことであり、より良い機器の導入について検討されたい。

◆若者の定住対策・子育て環境の充実

●定住促進住宅整備プロジェクトの進捗状況

脱炭素等事業に関する補助金等を受けるためにはゼロカーボン宣言をする必要がある。定住促進住宅として省エネルギー住宅を建設する際の財源として期待できることから、宣言について検討されたい。

公営住宅（特に高齢者入居住宅）へのエアコン設置についても検討する必要があると思慮され、そのための財源の確保を北海道等に訴えていくことも必要と考えるので検討されたい。



●学校給食の町内産米等の使用状況

近年の物価高騰により食材価格も高騰している。そのため給食の質を落とした町があるとの報道もあるが、当町では必要な予算を措置し、子ども達には引き続きおいしい給食を提供するよう努められたい。

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の8月から11月までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

● 改選前

年月日	会議・行事名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
8月7日	九重部屋力士激励会	○	○	―	―	○	○	○	○	○
13日	二十歳を祝う会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	やるべ福島イカまつり	―	―	―	―	―	○	―	○	○
22日	視察受入（美瑛町議会）	―	○	―	―	―	―	―	○	○
23～25日	松浦市・木曾町・福島町親善友好提携に係る首長・議長相互交流（長崎県松浦市）	―	―	―	―	―	―	―	―	○

● 改選後

年月日	会議・行事名	藤山	杉村	佐藤	小鹿	平沼	木村	熊野	平野	溝部
9月1日	定例会9月会議（初議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員会定期総会	○	―	○	○	○	○	○	○	○
	森林・林業・林産業活性化議員連盟定期総会	○	―	○	○	○	○	○	○	○
2日	健康フェスティバル	○	―	―	―	―	―	―	―	○
4日	渡島西部広域事務組合第2回定例会	―	―	○	―	―	○	―	―	○
5日	一般質問通告	○	―	―	○	―	―	―	―	職
	議会運営委員会（9月第2回会議の運営）	○	―	○	―	○	○	○	職	職
7日	議員勉強会	○	―	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会（意見書、所管調査事件の決定）	○	―	―	―	―	○	○	○	○
	経済福祉常任委員会（所管調査事件の決定）	―	―	○	○	○	―	―	○	○
12日	定例会9月第2回会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	決算審査特別委員会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	決算審査特別委員会（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会9月第2回会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（9月第2回会議の反省）	○	―	○	―	○	○	○	職	職
16日	敬老会	―	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	FOOD STADIUM 2023	○	―	―	○	○	○	―	○	○
21日	秋の交通安全大会・祈願祭	―	―	―	―	―	―	―	―	○
23日	福島幼稚園第69回運動会	○	―	―	―	―	―	―	―	○
24日	第28普通科連隊創立61周年・函館駐屯地開庁73周年記念式典（函館市）	―	―	―	―	―	―	―	―	○

年月日	会 議 ・ 行 事 名	藤山	杉村	佐藤	小 鹿	平 沼	木 村	熊 野	平 野	清 部
9月27日	第3回福島中学校「福中藝術祭」	—	—	—	—	○	—	○	—	○
30日	立憲民主党北海道総支部政経セミナー（札幌市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
10月4日	第6次総合計画策定調査特別委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○
5日	第2回議会基本条例諮問会議	—	—	—	—	○	—	—	○	○
7日	商業高校オープンキャンパス	○	—	—	—	—	—	—	○	○
11日	視察受入（佐賀県三養基郡議長会）	—	—	—	—	○	—	—	○	○
13日	議会運営委員会（10月会議の運営）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
	定例会10月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（10月会議の反省）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
	総務教育常任委員会（高校魅力化）	○	○	◎	—	◎	○	○	○	○
16日	渡島・檜山管内議員研修会（北斗市）	○	○	○	○	○	×	○	○	○
17日	総務教育常任委員会（事務事業評価）	○	○	—	—	—	○	○	○	○
	立憲民主党渡島地域政策懇談会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
18～20日	渡島西部四町議員連絡協議会視察研修（栃木県、福島県）	○	—	○	○	—	—	—	—	—
24～25日	スルメ原料確保・第2青函トンネル構想に係る要望（札幌市：道庁・道議会・道漁連）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
26日	視察受入（熊本県多良木町議会）	—	—	—	—	—	—	—	○	○
27日	経済福祉常任委員会（町内視察、執行方針の調査他）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	福島小学校学習発表会	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28日	渡島西部四町議員連絡協議会スポーツ大会（知内町）	○	—	○	—	—	○	○	○	○
	自民党北海道政経セミナー（札幌市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
29日	南北海道駅伝競走大会	○	—	—	—	—	—	○	○	○
30日	渡島廃棄物処理広域連合議会（北斗市）	—	—	—	—	○	—	—	○	—
31日	総務教育常任委員会（町内視察、執行方針の調査）	○	○	—	—	—	○	○	○	○
11月2日	福島アカデミー社会科サークル「地方自治」授業公開	—	—	—	—	○	—	—	—	—
	第2青函トンネル構想特別講演会（青森県今別町）	○	—	○	○	—	○	○	○	○
3日	自民党8区臨時大会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
5日	おおさか誠二政経セミナー（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
6日	第6次総合計画策定調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11～12日	町民文化祭	○	—	—	—	—	○	○	—	○
13日	全国過疎地域連盟総会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	令和5年度防災訓練	—	—	—	—	—	—	○	—	—
16日	経済福祉常任委員会（有害鳥獣処理施設、国保、診療所）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
17日	議会運営委員会（議会だより）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
	第3回議会諮問会議	—	—	—	—	○	—	—	○	○

31 福島町議会だより

町民の声

子供たちに繋ぐ町と自然



吉田町町内会長
山邊 篤

「カーボンニュートラルという社会へ」って最近よく聞く。近隣町に出かける道すがらソーラーパネルや風車を多く見るようになった。「自然エネルギーを使った発電は環境に優しい」…ホントだろうか？そもそも、野山を削って発電装置を大量に設置して環境に優しいのか。私が幼い頃は「森林伐採は環境破壊だ」と国産割箸が少なくなつた時期だ。ソーラーパネルのほとんどは海外製で材料には有害な重金属を含んでいる。実際に隣町で雪に漬れたパネルを見たことがあるが、漏れた物質が土や海を汚すと思うと嫌な気持ちだ。一次産業や自然体験を売りにしている町で「脱炭素社会」などという環境破壊をしないでほしい。何より、子供達に繋ぐ町が汚れていては恥ずかしい事と私は思う。

議員の雑感

インボイス制度って何？



総務教育常任委員
藤山 大

いよいよインボイス制度がスタートしました。一般消費者にはあまり関係のない制度だと感じていたかもしれませんが、身近に利用している店舗が制度の影響で廃業するかもしれません。インボイス制度とは、登録した消費税の課税事業者しか適格請求書を発行できない制度です。今後は事業者同士の取引で、消費税の計算上課税事業者からの仕入が有利になるため、小さな商店等の免税事業者が取引先から除外され、廃業するかもしれません。他の自治体では執行猶予があるため導入を見合わせる所もあります。わが町でも大半の小売店に大きな影響があると思います。国の制度ではありますが、今後どんな支障が出てくるか心配です。

主な会議・行事予定

12月

- 一般質問通告
5日(火) 午前10時～午後2時
議会控室
- 議会運営委員会
(12月会議の運営)
5日(火) 午後3時～
委員会室
- 議員勉強会
8日(金) 午後1時30分～
議会控室
- 定例会12月会議
12日(火)～14日(木)
午前10時～
議会議場
- 御用納め
29日(金)
- 御用始め
9日(火)
- 議会運営委員会(議会だより)
22日(月) 午後1時30分～
議会控室
- 渡島町村議長会総会
25日(木)

編集後記

一年があつという間に過ぎていくような気がします。皆様にとって、今年はどうな年だったでしょうか？北海道とは思えないような猛暑、雪虫の大量発生など、「今までこんな事はなかった」と感じるできごとの多い年でした。今年の冬はどうなるのでしょうか。穏やかに過ごせると良いのですが…。

皆様もどうぞ寒さにお気をつけて、風邪をひかないよう暖かくお過ごしください。
2月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会12月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」